

## 当社出資の浮体式洋上風力発電事業が英国の再生可能エネルギー支援制度に採択

2026年1月28日

関西電力株式会社

当社は、欧州を中心に洋上風力開発プロジェクトを推進するシンプリー・ブルー・エナジー社<sup>※1</sup>を通じて、ブルージェムウインド社に出資しています。

今回、同社が推進する英国ペンブローク沖のエレバス浮体式洋上風力発電事業（以下、本事業）が、英国政府の再生可能エネルギー支援制度<sup>※2</sup>の第7回オークションにおいて支援対象プロジェクトとして採択され、英国政府と契約<sup>※3</sup>を締結しました。

本事業は、英国ペンブローク沖約45kmの海域において、総発電容量約10万kWの浮体式洋上風力発電設備を設置する計画であり、今後、事業化に向けて具体的な検討を進めてまいります。

当社グループは、引き続き再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組み、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※1：当社とシンプリー・ブルー・ホールディングス社が共同で出資する企業。

当社による同社への出資については、2025年10月31日付プレスリリースをご参照ください。

[https://www.kepc.co.jp/corporate/pr/2025/pdf/20251031\\_2j.pdf](https://www.kepc.co.jp/corporate/pr/2025/pdf/20251031_2j.pdf)

※2：英国政府が実施する再生可能エネルギー支援制度「Contracts for Difference (CfD)」。

電力の市場価格とあらかじめ定めた基準価格との差額を調整することで、発電事業者の収入の安定化を図る仕組み。

※3：Contracts for Difference (CfD) 契約。CfD制度に基づき、対象電力について基準価格と

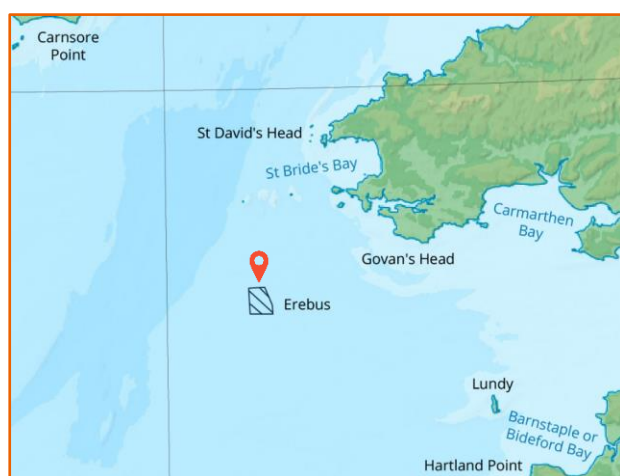
市場価格との差額を精算するため、政府と発電事業者の間で締結される契約。

以 上

### <エレバス浮体式洋上浮力発電事業の概要>

事業者	トタルエナジー社、シンプリー・ブルー・エナジー社
場所	英国（ウェールズ）ペンブローク沖
設備規模 (発電出力)	100,000kW (14,000kW級浮体式洋上風力発電設備 約7~10基)

### <事業実施海域>



上図はブルージェムウインド社ウェブサイトに掲載されている図を基に当社で作成



上図は国土地理院で公開されている地理院タイルを基に当社で作成